



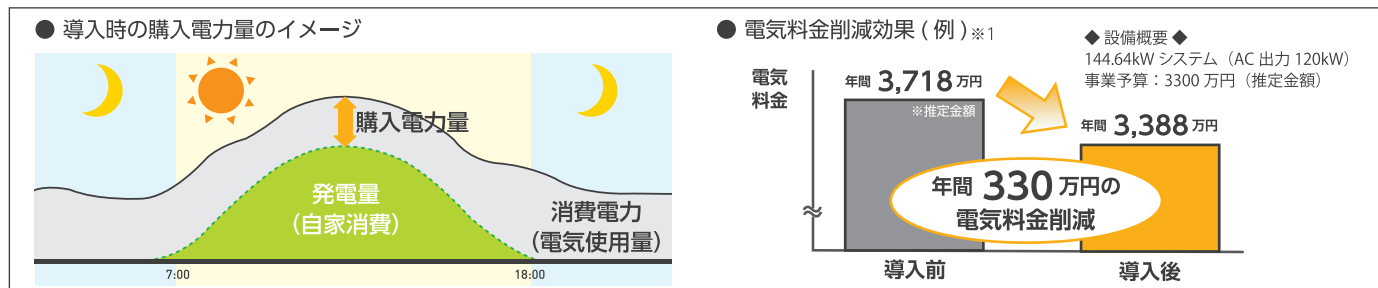
自家消費型太陽光発電システムで「電気料金削減」や「節税」を実現！

自家消費型太陽光発電システムの導入メリット

メリット① 電気料金の削減

- ✓ 日中に電気を多く使用する
- ✓ 冷蔵・冷凍設備や、空調機器を使用している
- ✓ 平日だけでなく休日も電気を使用する設備を動かしている

日中に発電した電気を使うことで「電気料金の削減」が可能！



メリット② 即時償却による節税効果

- ✓ 中小企業経営強化法の対象企業様
- ✓ 利益計上を行う企業様
- ✓ 指定期間内に該当設備を取得可能な企業様

税制優遇を活用し、「即時償却」で節税が可能！

● 中小企業経営強化法を利用した即時償却のイメージ ※1



【中小企業経営強化法】

- 対象企業 ▶ 資本金もしくは出資金の額が1億円以下の法人
- 即時償却又は取得価額の10%税額控除 (資本金 3000 万円超 1 億円以下の法人は 7%)
 - 指定期間内に一定の設備を新規取得等して指定事業の用に供した場合

詳しくは中小企業庁 HP よりご確認ください。

メリット③ 脱炭素化による企業価値の向上

- ✓ 再エネ電力の調達手段として
- ✓ RE100、SBT、ESG 投資の取り組みとして
- ✓ SDGs、CSR 活動として

脱炭素化による企業価値の向上

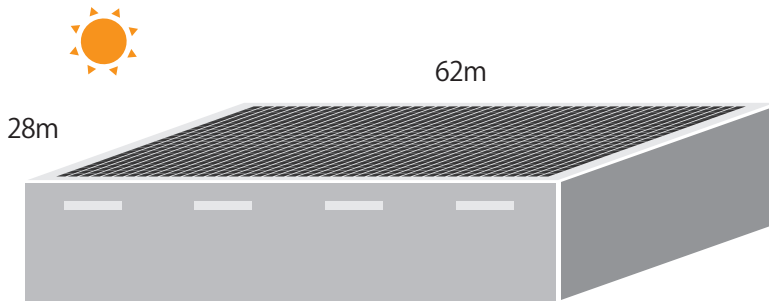
メリット④ 工場立地法による土地活用

メリット⑤ 遮熱効果

メリット⑥ 非常用電源の確保 /BCP 対策

メリット⑦ 省エネ法への対策

※1: 記載されている導入効果は一例であり、効果を保証するものではありません。



【想定試算条件】

※1 (年間推定発電量)

- 方式：JIS C 8907 ・日射量データ：METPV-20 気象サイト：東京
- パネル型式 / 枚数：SFC415-108B / 504 枚 ・PCS 変換効率：95%
- 過積載率：120% ・設置方位 / 角度：真南 / 0度 設置方法：屋根置き

※記載地域における気象データを元に、ソーラーフロンティアの計算方法に基づき発電量を推定したものであり、お客様のシステムの発電量を保証するものではありません。

※2 (概算導入費用)

- 税別 15.0 万円 / kW (仮定) × 209.16kW × 消費税 10% = 34,511,400 円 (税込)

※3 (年間想定電気料金削減額)

- 電気料金単価：東京電力 高圧電力 (市場調整ゼロプラン) の単価 (20.7 円 / kWh) に再エネ賦課金 (3.49 円 / kWh) を足した単価に、年間推定発電量の 95% を自家消費として活用できた想定のもと試算

- 234,393kWh × 95% × (20.7 円 / kWh + 3.49 円 / kWh) = 5,386,468 円 / 年

※4 (年間想定 CO₂削減量)

- 計算式：年間推定発電量 (kWh) × 95% × 0.3875kg-CO₂/kWh

- (太陽光発電協会の「表示ガイドライン (2023 年度版)」より

- 234,393kWh × 95% × 0.3895kg-CO₂/kWh = 86,731kg-CO₂ / 年

※5 (即時償却による節税効果試算)

- 税別 15.0 万円 / kW (仮定) × 209.16kW = 31,374,000 円

- 31,374,000 円 × 30% = 9,412,200 円 (税別)：法定実効税率：30%と仮定

※導入費用の全額を即時償却に活用できた想定。(詳細は税理士様等へご確認ください。)

想定屋根面積

1,736 m² (約 525 坪)

太陽電池パネル想定設置容量

209.16kW

年間推定発電量 (※1)

234.393kWh

概算導入費用 (※2)

約 3,451 万円 (税込)

年間想定電気料金削減額 (※3)

約 △ 539 万円 / 年

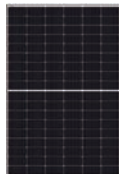
年間想定 CO₂削減量 (※4)約 △ 86,731kg-CO₂ / 年

即時償却による節税効果試算 (※5)

約 △ 941 万円 / 年

ご提案に合わせた太陽電池モジュールラインアップ

● 単結晶シリコン太陽電池モジュール



SFC415-108B (415W)

セル
質量
外形寸法 (L×W×H)

単結晶シリコン
21.2 kg
1,722×1,134×30 mm

● 両面受光型 単結晶シリコン太陽電池モジュール



SFC410-108AG (410W)

セル
質量
外形寸法 (L×W×H)

両面単結晶シリコン
25.4 kg
1,722×1,134×35 mm

※ 製造後、またはその後の経年変化により、太陽電池モジュール表面の色調が製品ごとに異なる場合がありますが、発電性能には影響なく、製品異常ではありません。 ※ 表記の公称最大出力は、基準状態(STC)での値です。基準状態(STC)とは、太陽電池セル・モジュールの特性を測定する際の基準として使用される、セル温度は25℃、分光分布は基準太陽光AM1.5、日射強度は1,000W/m²の状態です。データは工場出荷時における公称値であり、使用期間における保証内容を示すものではありません。

導入事例



ソーラーフロンティア株式会社

お客様サービスセンター 0120-55-8983 受付時間 9:00~17:30
※年中無休 (年末年始を除く)

〈本社所在地〉

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目1番1号 帝劇ビル

〈営業拠点〉

東日本 〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目1番1号 帝劇ビル

西日本 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原5丁目1番24号 NLC新御堂ビル

九州 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神3-11-1 天神武蔵ビル

お問い合わせは当店まで。

自家消費型太陽光発電システムに関する詳しい情報は、
ぜひソーラーフロンティア HP もあわせてご覧ください▶

ソーラーフロンティア 自家消費 検索

